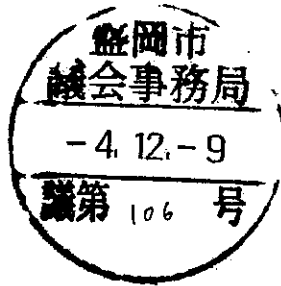


請願第 17 号

盛岡市議会議長 様



令和 4 年 12 月 9 日

紹介議員

豊村 徹也

住所

岩手県盛岡市

氏名 政策立案有志市民会 安部茂樹



連絡先

## 感染対策として予防効果が疑わしい mRNA ワクチン接種の政策評価の請願

### 請願 要旨

- 1 盛岡市は令和 3 年 2 月以降、新型コロナウイルス感染症対策として、特例承認ワクチン接種を進めているが、ウイルス変異以前に開発されたワクチン接種を進めている。
- 2 現在接種を推奨しているオミクロン対応ワクチンに関しても、開発当初流行していた変異株と現在流行している変異株は異なり、予防効果の持続期間は未確立である。
- 3 岩手県内において、ワクチン接種の死亡予防効果を測定するために同期間内（2 月～11 月）のコロナ死亡者数を比較した場合、ワクチン接種前期間である令和 2 年同期間で 4 名、ワクチン接種が始まった令和 3 年同期間で 26 名（昨対比 650%増）、複数回接種が拡大した令和 4 年同期間で 217 名（R2 年比 5,425%増）である。
- 4 また、死亡者数に加え感染者数もワクチン接種回数増加に比例して増加している。
- 5 これらの実態は、当初より利益相反しない専門家から指摘されていた抗体依存性感染増強（ワクチン接種で生成される抗体に起因して、変異株やその他のウイルスに対して脆弱になる現象）や抗原原罪、後天性免疫不全（AIDS）をはじめ、接種との因果関係を否定できない接種後の健康増悪の可能性を実証している。
- 6 ワクチン接種による危険性が現実化している反面、副反応リスクを上回る利益の根拠は大阪府のデータ（878 万人）ですら不明瞭であるだけでなく、盛岡市内の実態として、感染者に占めるワクチン接種者とワクチン未接種者の有意差は示されていない。
- 7 ワクチン未接種者と比較した場合、どれだけ重症化又は死亡する割合や実数が軽減できるか、ワクチン添付文書にすら明示されていない以上、盛岡市が全額公費負担でワクチン接種を推奨する根拠・裏付ける実態が盛岡市に存在するのか不明である。

上記を踏まえて、以下の通り、盛岡市内の感染状況に関して、実態ベースでワクチン接種後の体調増悪の危険性に比較して接種利益が不明瞭かつ未検証である新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種政策への政策評価を請願します。

### 請願 事項

- 1 市民を対象としたワクチン接種後の、接種との因果関係を否定できない全ての体調増悪の調査及び公表（ワクチン添付文書で報告が義務付けられているため、調査は可能）
- 2 ワクチン接種者と未接種者の重症化・死亡移行率の有意差・実数の調査及び公表